

自民党区議会議員 25年4月号 69号4月下旬

## とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8-3-3-201 電話090(1201)1297

携帯メール torigaihideo@ezweb.ne.jp



# 防災対応トイレ設置一汐入公園

## 子供や子供連れに配慮した設計

一昨年、汐入公園の隅田川テラスから子供が川へ転落し亡くなるという事故が起きました。この事がきっかけで地元の女性から、私と自民党荒川支部に対して『公園内のすべてから眺望できる、死角がないようなトイレを設置してほしい』との要望が寄せられました。この度、東京都の公園課から回答を戴きました。その概要を説明すると建物の大きさは約60㎡。設備としては誰でもトイレ 大便器【洋】1・幼児用大便器・【洋】オストメイト1・ベビーシート1・ベビーチェア1・男子トイレ 大便器【洋】1・小便器2・幼児用大便器【洋】・幼児用小便器・ベビーシート1・ベビーチェア1・女子トイレ 大便器【洋】【和】・幼児用小便器・ベビーシート1・ベビーチェア2となっています。設置場所は大型遊具ツインタワー付近。設置の時期は今年の秋以降の予定となっています。



新設トイレ設置付近

# 住民の声に崎山前都議 都へ要請

今回の事については、自民党荒川支部長である崎山知尚さんが要望書を持って東京都の公園課に訪ね、この事を説明するなど、窓口となって協力していただきました。今回のトイレ設置により汐入公園内でのトイレは屋外で5カ所となり日常においても利用者にとりましては使いやすくなります。災害時においても大きな役割を果たすものと期待されます。



# 地域の行事

## 奉納金受付開始

胡録神社の  
大祭は、皆様の  
奉納金で  
運営されます。



ご協力をお願いします

5月1日10時~  
神社社務所

## 汐入町会 20 周年記念 祝賀会開催の御案内

今回は各建物で募集する他に、  
スポーツや趣味の会の方同士として  
申し込みれば、隣同士で着席が  
出来るようになりました。**是非、誘  
い合わせてご参加下さい！**

申込の方法 既に案内チラシが各  
戸の郵便箱に入っています

締め切りは 5月8日

申込み場所 各建物・同好会・  
趣味の会の世話人、責任者

実施日 6月16日【日】

詳細は「案内チラシ」参照下さい

問い合わせ 鳥飼広報部長

今、旧街道を歩き、その町  
の風を読む事が流行してい  
ます。高齢者・初参加者も  
頑張っています！日光迄あと70キロ、  
挑戦しませんか！



## 日光道中を歩く

小金井宿 ~ 石橋宿

日時 4月28日(日)

集合・出発 8時00分

メトロ南千住汐入寄り改札口

【約8キロ】雨天 中止

解散 13時頃 石橋駅

会費 鉄道運賃 2,500 円位

## 450 匹の 鯉のぼり が泳ぐ



鯉のぼりの大群が東京スカイツリ  
ーを目指して泳ぐ姿は、壮観！

【開催期間】平成25年4月25日~  
5月20日

【会場】 都立東白鬚公園

【白鬚橋から徒歩3分】

【催し】 4月27日~5月20日

産地直送/模擬店/リサイクル・など

問合せ 090-3501-9082 担当  
坂井さん

# 汐入公園内噴水開始

4月27日(土) 午前10時～16時

初夏の5月まであとわずかとなりました。汐入公園で散策している親子連れを見ていると一日でも早く、噴水の中に入り飛び跳ねたいという気持ちが伝わってきます。今年の噴水の稼働は4月27日【土】～12月25日【水】までの予定です。噴水も当初は今よりも勢いがありましたが、子供達が噴水の穴を覗くなどして危ないというのでいくらか細くなってしまいました。今年も大喜びで遊ぶ姿が見られます。



## 石破茂 IN 荒川 講演会の御案内

自民党幹事長・石破 茂さんが荒川区にやって来ます。チケット購入の上ご参加ください。

日時 5月21日(火)  
午後7時開会  
会場 サンパール荒川  
大ホール  
入場券 500円

車の送迎あり  
申込・問い合わせ  
松島みどり事務所・泉  
090-3536 0620

## 国会見学の御案内



政治の中心地、  
国会を見学しよう!

日時 5月17日【金】  
出発 9時45分  
メトロ南千住駅  
北千住行ホーム前方  
会費 1,500円  
(議員食堂での昼食代)  
解散 午後3時過ぎ

主な見学場所 本会議場・議員  
会館内議員事務所・売店等  
申込・問い合わせ 松島みどり事務所・泉  
090 3536 0620



## 23才 早すぎる滝廉太郎の死

### 台東区 隅田公園内に『花』の碑

春を迎えるとなぜか「春のうららの隅田川・・・」という「花」を歌いたくなります。今回は隅田川散策という事で台東区側の隅田公園内【スポーツセンターと駒形橋の間）に、明治時代の天才作曲家・滝廉太郎の名曲「花」の碑が建っています。今回はこの事についてお話をさせていただきます。彼は今から130年前の明治12年【1879】に東京港区に生まれました。父は大蔵省や内務省の官僚として働き、その後は地方官として神奈川県や、富山県、大分県竹田市などに移り住んだため、彼も生後間もなくから各地を回るようになります。明治27年【1894】に15歳にして東京音楽学校【現・東京芸術大学】に入学し、首席で卒業。当初はピアノ演奏に力を入れました。特に、文豪幸田露伴の娘からの教えに、めきめきと頭角を現すようになります。しかし、ピアノ演奏に限界を感じ作曲の方へ道を開いていく事になります。当時の日本の唱歌は外国からの曲を日本語訳にし、無理やりはめ込んだぎこちない歌が多く、日本人作曲家による日本の歌を望む声が高まっていた時代でもありました。彼はその要望に応えた最も早い作曲家でした。明治32年【1899】20歳で東京音楽学校の教授囑託として働くようになります。翌明治33年（1900）「荒城の月」「箱根八里」を発表、更に同じ年には「花」を作曲します。「花」は4曲からなる組曲「四季」の一曲となります。そして明治34年（1901）彼は日本人として二人目の音楽家としてドイツに留学しますが、わずか2か月後に肺結核を発病し1年で帰国となります。帰国後大分県で療養生活を送っていましたが明治36年（1903）23歳で他界します。彼は亡くなるまでに30数曲の歌を書きますが、それらのほとんどが20歳までのわずか3~4年で書き上げた事を考えると驚異的なペースで書き上げました。



隅田公園内「花」の碑